



2014～15 年度  
国際ロータリー会長

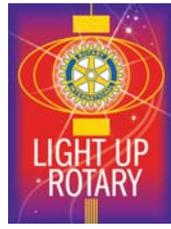
ゲイリー C. K. ホアン

# Weekly Report Niigata



2014～15 年度  
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹



## ロータリーに輝きを

2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 7 月第 2 例会 (2014.7.8) No.3047

### (1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

### (2) 高橋 秀樹会長挨拶

さて、前回の会長挨拶で予告いたしましたように、国際ロータリーの 6 つの重点分野についてお話させていただきます。本日取り上げる分野は、「平和と紛争解決」です。会長挨拶の僅かな時間で「世界の平和」を語るのはちょっと大げさなだと感じる方もおられるかもしれません。みなさんの中で戦争や紛争を身近に感じたことのあるかたは多くはないだろうとも思います。そこでささやかながら私の体験をお話ししたいと思います。

遺跡の調査のため、エジプト、スーダン、リビア、チャドの四カ国の国境地帯に出かけたことがあります。アルウェイナート山が目的地でした。ここは 1 万年前の岩絵、洞窟壁画、浮彫などが集中する大遺跡なのですが、関係が良好でない国同士の国境地帯ということもあり、なかなか調査許可が下りません。幸いにも当時のリビア政府から許可を得ることができました。ところが、現地直前で軍事基地の検問を通過したとき、兵士たちが政府の通行許可書を信用してくれず、1 時間ほど足止めされました。あきらめてそそくさと逃げ出してはかえって疑われるかもしれず、そうなったら何をされるかわからないので、大変閉口しました。マシンガン肩にかけた兵士に不審の目で見られながら通行許可をお願いするというのは、あまり気持ちのいいものではありません。その後到着した現地では、戦闘のあとも見られ、その地域の状況を生々しく感じました。しかし、それに加えて印象的だったのは、移動中の難民と遭遇した時です。彼らは、追い詰められた形相が凄まじく、現地のガイドさんも、話しかけることはおろか目を合わせることも避けるほどでした。また、途中には何キロにもわたって点々と、野垂れ死にした駱駝の死骸が見られる場所もありました。「砂漠の船」と言われるラクダがそんな有様になるとは、いったいどれだけ苛酷な移動がなされたのでしょうか。これほど必死な人間の移動は決して止められるものではありません。紛争の震源地から押し寄せる波には国境など何の意味もないのです。ちなみに、かのリビア内戦が起こって一つの国の政治体制が崩壊したのは、私が帰国してからわずかの後のことでした。

アフリカの諸々の紛争や難民の大規模な移動などは、現在に至ってもなお激しく続いています。2014 年 6 月 30 日

のロイター通信では、イタリアのシチリア島沖で、難民が乗った漁船から約 30 人の遺体が発見されたとのことです。イタリアには、戦争や貧困から逃れようと北アフリカから難民が押し寄せており、過去 1 年間に数百人が命を落としています。当局は先週末 5000 人以上を救助しましたが、今年に入って救助された難民の数は 5 万人に達しているそうです。

さて、このようなアフリカの戦乱と紛争は日本人にとって遠い世界の出来事でしょうか？ 日々の仕事に勤しむ日常と無関係でしょうか？ そこで思い出していただきたいのは、アルジェリア人質拘束事件における日本企業プラントの悲劇です。あの事件は例外的なものでしょうか。いや、むしろあのような出来事はますます身近なものになる可能性が高まりつつあると言えましょう。グローバル化された世界経済のなかで「アフリカは世界市場最後のフロンティア」と言われており、先進諸国の諸企業が次の大規模進出の対象として熱い眼差しを向けていることは、みなさまもよくご存知かと思います。さて、そこで想像していただきたいのですが、みなさんの会社や関連企業、提携企業がアフリカに進出することになったとき、あるいは、進出せざるをえなくなったとき、現地で戦乱・紛争・伝染病が猛威を振るっていたら、みなさんはどうしますか？ これはアフリカに限ったことではありません。ロータリーの 6 つの重点分野の一つ「平和と紛争解決」は、現在のわれわれにとって極めて日常的な大切な問題なのです。

念のため誤解のないようにお願いしたいのですが、人道支援や平和維持、紛争解決は、人命の尊さや社会の安寧を第一に考えて行うべきものであり、経済的利益を目当てに行うものではないことはいうまでもありません。それを踏まえた上で、今日のグローバル化された世界においては、遠い地域の治安状況や衛生環境が、日常の仕事とも無縁ではないことを改めて感じていただきたい、と思うのです。

### (3) ビジターの紹介・挨拶

山本和則ガバナーエレクト、藤田 普ガバナー補佐

(新潟南 RC)

#### (4) 新会員の紹介



NTT東日本新潟支店

支店長 村松 敦

ニコニコボックス委員

皆様、はじめまして。NTT東日本新潟支店の村松です。この度、東北電力の坂本支店長様、NTTドコモの熊高支店長様からご推薦を賜り、歴史と伝統のある新潟ロータリークラブに入会させていただくことになり大変光栄に思っています。私は昭和41年生まれの48歳、山梨県の出身です。平成元年にNTTに入社し、これまで主に営業と人事の仕事に従事して参りまして、新潟に来る前は東京の本社で人事の仕事をしておりました。6月19日より新潟支店長としてご当地で働かせていただいております。家族は妻と犬2頭(チワワの兄妹)です。趣味は歌舞伎鑑賞、愛犬との散歩、読書、ゴルフ、釣りなどです。ロータリー活動は初めての経験ですが、諸先輩の皆様からご指導を賜りながら、「職業奉仕」を通じて地域社会のさらなる発展に少しでもお役に立てるよう全力で努力して参ります。皆様には大変お世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

#### (5) 各種ご寄付の発表

##### 米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)

徳山 啓聖君

##### 青少年育成基金寄付発表(山田 隆一委員長)

樋熊 紀雄君

#### (6) ニコニコボックス紹介

・高橋 秀樹君 山本和則ガバナリーエレクト様、藤田普ガバナリー補佐様を歓迎します。

・徳永 昭輝君 先回は、誕生日の祝いのワインを頂きありがとうございました。平成16年から、10年間新潟県産婦人科医会会長を務めましたが、6月で交代いたしました。これからは、来年10月に新潟で開催する第42回日本産婦人科医会学術集会を頑張りたいと思っています。7月1日、南病院で人間ドック検診をしました。胃の内視鏡検査も異常ないと言われほっとしています。今まで、1回もドッグ検診をしたこともなく、医者の不養生と言われてきましたので、少しは健康のことも考えて生活したいと考えています。新たな気持ちで、7月22日の誕生日を迎えたいと思っています。

・大澤 強君 7月はわたしにとってラッキーな月です。誕生日プレゼントをいただき、100%出席バッチもいただきました。夏バテしないようがんばります。

#### (7) 幹事報告(安藤 栄寿幹事)

例会終了後、新会員オリエンテーションを4階「楓の間」で開催致します。

#### (8) 事業計画の発表

- ① 広報委員会 川崎 嘉朗  
(ロータリーの友の紹介を含む)
- ② 社会奉仕 小飯田 澄雄
- ③ 国際奉仕 玉 知夫
- ④ R財団 樋熊 紀雄
- ⑤ 米山奨学 徳永 昭輝
- ⑥ 青少年交換 徳山 啓聖
- ⑦ ローターアクト 石川 治彦
- ⑧ インターアクト 内田 直紀
- ⑨ 青少年育成基金管理 山田 隆一

(9) 本日の出席率 72.73 %

(2週間前メーク後 77.78 %)

#### 7月15日の例会予定

卓話「新潟地方気象台の業務」

新潟地方気象台台長 安藤正氏

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rrcrcrc